

《用語解説》

◆歳入

【市税】市民税や固定資産税、軽自動車税など

【諸収入】各種貸付の元利償還金、延滞金などの徴収金

【使用料・手数料】施設の使用料など

【分担金・負担金】受益者の負担金。主に保育料など

【自主財源その他】寄付金・繰入金、繰越金、財産収入

【地方交付税】国税として徴収した所得税・法人税・酒税などの一定割合を、市の財政状況に応じて配分する

【国庫支出金・県支出金】国の委託や市の事業に対して、国や県から交付される補助金・負担金・委託金など

【市債】公共事業の資金調達のための国や金融機関などからの借入金

【依存財源その他】地方消費税、地方譲与税、自動車取得税交付金、ゴルフ場利用税交付金、利子割交付金、交通安全対策交付金、地方特例交付金など

◆歳出

【民生費】安定した社会生活を保障するための経費で、児童福祉・老人福祉・生活保護・その他社会福祉費など

【総務費】市の全般的な管理事務経費で、戸籍・統計・選挙・徴税費や職員給など

【公債費】借り入れた市債の元利償還金

【教育費】小中学校の増改築や生涯学習事業、市民センターなどの管理、文化財保護などの経費

【衛生費】ごみ・し尿を処理したり、生活排水や公害対策、健康管理・予防のための経費

【土木費】道路・河川・公園や市営住宅などの整備と維持管理のための経費

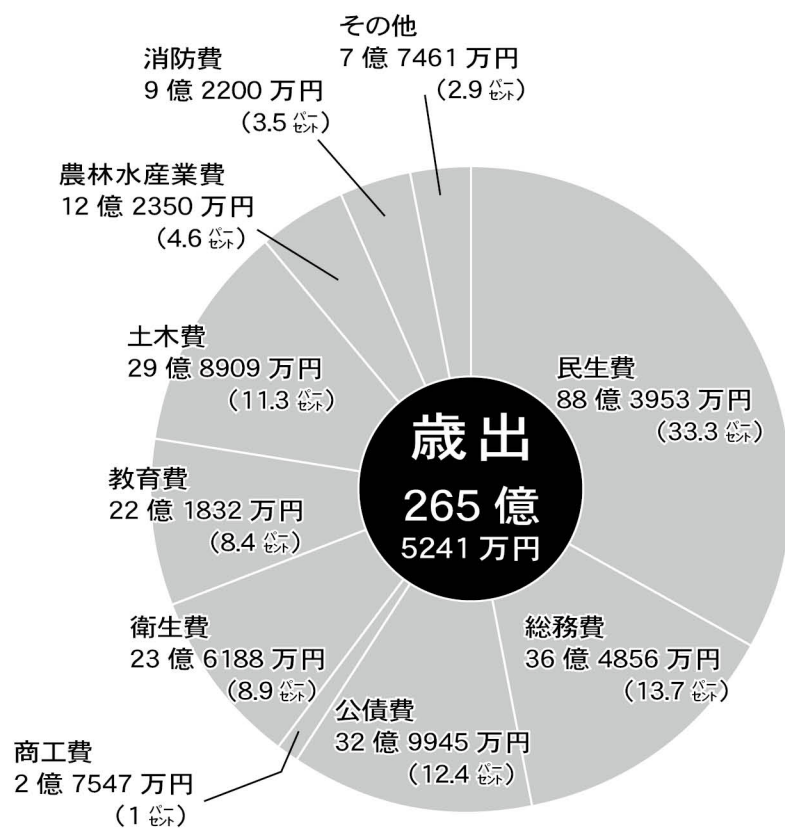
【農林水産業費】農林業振興のための支援や生産基盤整備などの経費

【消防費】防災事業、広域消防、消防団運営などの経費

【商工費】商店街振興や企業誘致、観光振興事業を行うための経費

【その他】議会費・災害復旧費・労働費など

1 - 2 歳出



●平成 26 年度に実施した主な事業

平成 26 年度に市が実施した主な事業は次のとおりです。

汚泥再生処理センター管理事業…2 億 2350 万円
杷木し尿処理施設管理事業…1 億 5690 万円
市道池田・久喜宮線等道路改良事業…3 億 7870 万円
こども医療費支援事業 …1 億 3620 万円
小中学校耐震化事業…2 億 6530 万円
甘木地区中心市街地整備事業（第二期）…5 億 5770 万円
市営松の木団地建替事業…2 億 800 万円
私立保育園施設整備補助事業…1 億 6370 万円
朝倉農業高校跡地活用事業…3250 万円

(単位：万円)

●合併特例事業債の状況

合併特例事業債とは、新市建設計画に位置づけられた事業経費に対して、合併特例事業債を充当（95 億）することができ、その償還金の 70 億が普通交付税に措置される有利な借金です。

平成 26 年度合併特例事業債は右のとおりです。

平成 26 年度事業内訳	起債額
道路改良事業（山田黒川線外 26 件）	56,970
小中学校整備事業（南陵中学校舎耐震外 4 件）	5,670
農業施設等整備事業（池の迫ため池外 9 件）	5,620
保育所・学童保育所等整備事業	4,560
甘木公園整備事業	3,150
朝農跡地活用検討事業	2,020
急傾斜地崩壊対策事業	1,800
防火水槽等整備事業	1,160
新秋月郷土館建設事業	810
その他（原鶴地区浸水対策事業外 2 件）	1,020
計	82,780

1 平成 26 年度決算 一般会計

●平成 26 年度決算の概要

一般会計の歳入総額は 269 億 3598 万円（前年度比 8.6 億減少）でした。歳出総額は 265 億 5241 万円（前年度比 8.2 億減少）で、差し引き 3 億 8357 万円の収支となりました。

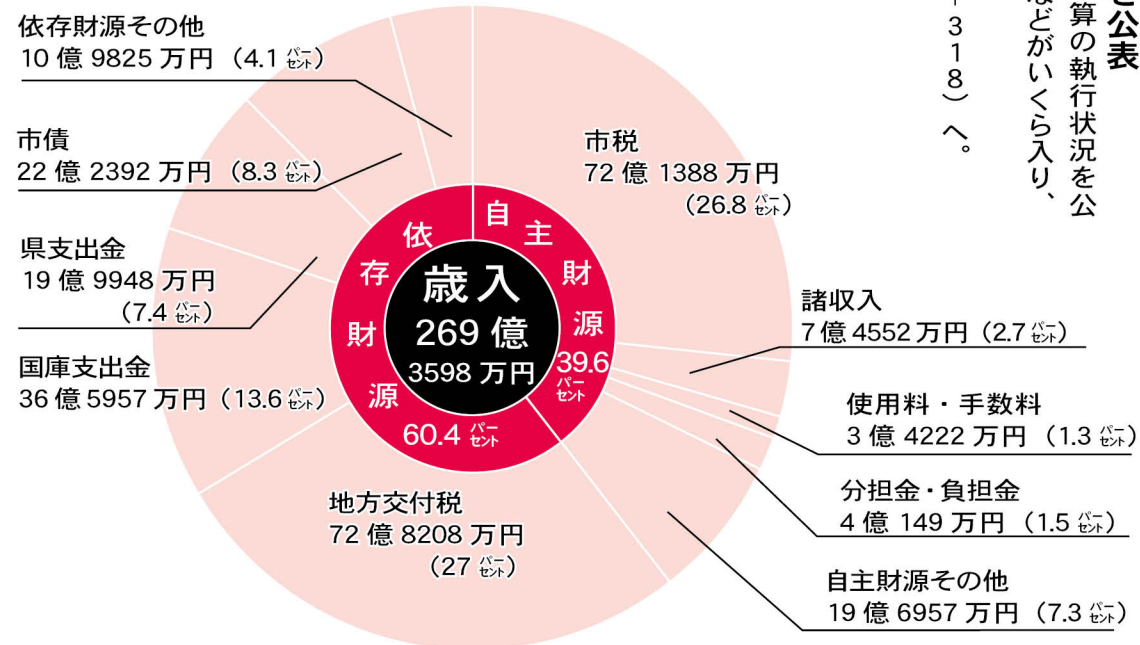
市の歳入の中心となる市税は 72 億 1388 万円で、歳入全体の 26.8 億でした。これを市民一人当たりで計算すると、12 万 9390 円の負担となります（平成 27 年 3 月 31 日現在の人口 5 万 5753 人で計算）。

【市債の状況】

市債は市の借金です。一般会計の市債の現在高は、平成 27 年 3 月末現在で約 258 億円（前年度比 2.9 億減）です。このうち約 8 割が、国から交付される地方交付税等で手当てされます。

平成 26 年度末の市債	257 億 6460 万円
平成 25 年度末の市債	265 億 3782 万円

1 - 1 歳入



●入湯税の使途状況

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、観光施設、消防施設などの整備や、観光振興の費用に充てるために設けられた目的税で、鉱泉浴場の入湯行為に対してかかるものです。

平成 26 年度の入湯税の決算額は 2686 万円で、表に記載した事業の財源の一部に充てられています。

●消費税の使途状況

平成 26 年 4 月より、消費税率が 5 億から 8 億に引き上げられたことに伴い、地方消費税率も 1 億から 1.7 億に引き上げられました。

引き上げ分の平成 26 年度地方消費税収は 1 億 1132 万円で、全額が表に記載した社会保障施策の財源に充てられています。

事業内容	(事業費と内訳)			
	事業費	入湯税	その他	一般財源
環境衛生施設の整備	105,504	172	1,281	104,051
観光振興	5,352	2,274	1,077	2,001
観光施設の整備 ハード事業	1,089	240	780	69
合計	111,945	2,686	3,138	106,121

事業内容	(事業費と内訳)			
	事業費	消費税	その他	一般財源
社会福祉 (生活保護・児童福祉・母子福祉・高齢者福祉・障害者福祉など)	488,978	4,132	325,937	158,909
社会保険 (国民健康保険・介護保険・年金など)	152,309	3,373	19,203	129,733
保健衛生 (医療に係る施策・感染症等の 予防対策・健康増進対策など)	185,540	3,627	42,437	139,476
合計	826,827	11,132	387,577	428,118

平成 26 年度決算と、平成 27 年度予算の執行状況を公表
市の財政状況を知っていただくため、毎年、決算と予算の執行状況を公表しています。みなさんが納めた税金、国や県の補助金などがいくら入り、それがどのように使われたのかについてお知らせします。
※詳しくは、市総務財政課（☎ 22・1111、内線 61・318）へ。

朝倉市の財政状況

4

平成 27 年度予算の執行状況

●平成 27 年度一般会計の執行状況（４月～９月）

【歳入】（単位：万円、収入率は％） 【歳出】（単位：万円、執行率は％）

区分	予算額	収入済額	収入率	区分	予算額	執行額	執行率
地方税	711,739	362,302	50.9	総務費	465,590	128,417	27.6
分担金・負担金	29,484	12,299	41.7	民生費	878,903	330,179	37.6
使用料・手数料	45,798	20,066	43.8	衛生費	248,944	89,893	36.1
諸収入	122,996	64,283	52.3	農林水産業費	186,309	38,196	20.5
自主財源その他	149,657	29,506	19.7	土木費	474,982	80,983	17.0
地方交付税	720,500	472,016	65.5	消防費	90,137	45,115	50.1
国庫支出金	413,759	124,803	30.2	教育費	288,114	104,254	36.2
県支出金	202,056	30,760	15.2	公債費	274,231	124,696	45.5
市債	437,179	0	0.0	その他	75,158	36,259	48.2
依存財源その他	149,200	79,294	53.1	合計	2,982,368	977,992	32.8
合計	2,982,368	1,195,329	40.1				

●平成 27 年度特別会計の執行状況（４月～９月）（単位：万円、収入率・執行率は％）

特別会計名		予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
住宅新築資金等貸付		885	411	46.4	24	2.7
簡易水道		1,062	95	8.9	156	14.7
国民健康保険	事業勘定	958,443	328,382	34.3	434,488	45.3
	直営診療施設勘定	27,434	12,395	45.2	11,437	41.7
後期高齢者医療		89,472	26,328	29.4	24,905	27.8
介護保険	保険事業勘定	556,944	215,057	38.6	218,468	39.2
	介護サービス事業勘定	2,251	1,947	86.5	1,097	48.7
下水道事業		237,882	22,058	9.3	77,824	32.7
農業集落排水事業		42,051	5,036	12.0	16,784	39.9
個別排水事業		29,844	5,625	18.8	10,090	33.8
工業用地造成事業		46	0	0.0	7	15.2

●市有財産の状況（９月 30 日現在）

区分	行政財産	普通財産
土地	4,920,259.98 ㎡	261,798.32 ㎡
(うち山林)	(2,052,322.00 ㎡)	(135,250.31 ㎡)
建物	270,378.08 ㎡	3,010.54 ㎡
有価証券		108,026,000 円
出資金		1,028,970,000 円
債権		451,664,732 円
基金		13,016,441,999 円

●平成 27 年度企業会計の収支状況（４月～９月）（単位：万円、執行率は％）

	区分		予算額	済額	執行率
上水道事業	収益的収支	収入	60,349	23,244	38.5
		支出	52,833	10,450	19.8
	資本的収支	収入	5,327	0	0.0
		支出	36,921	6,349	17.2
工業用水道事業	収益的収支	収入	14,412	6,546	45.4
		支出	12,163	4,206	34.6
	資本的収支	収入	1,028	1,028	100.0
		支出	7,286	900	12.4

2

平成 26 年度決算 特別会計・企業会計

特別会計とは、特定の事業に係る人に経費を負担してもらうため、一般会計とは別に経理する会計のことです。
また、市が行う水道事業経理は、特別会計を設けて独立採算をとる企業会計とされています。

●特別会計決算および市債の状況（単位：万円）

特別会計名		歳入額	歳出額	差引	市債現在高
住宅新築資金等貸付		1,132	1,132	0	336
簡易水道		622	622	0	0
国民健康保険	事業勘定※	761,444	828,371	△ 66,927	0
	直営診療施設勘定	27,018	27,013	5	0
後期高齢者医療		85,666	82,970	2,696	0
介護保険	保険事業勘定	529,997	528,632	1,365	0
	介護サービス事業勘定	3,205	2,289	916	0
下水道事業		206,538	206,538	0	1,064,210
農業集落排水事業		38,440	38,440	0	309,055
個別排水事業		25,589	25,589	0	59,361
工業用地造成事業		37	37	0	0

※国民健康保険特別会計（事業勘定）においては、赤字のため、翌年度歳入を繰り上げて当年度歳入に充てる繰上充用を行っています。

●企業会計決算および企業債の状況（単位：万円）

会計名	収益的収支 (水道料金や給水費など)		資本的収支 (改良事業や起債など)		企業債現在高
	収入額	支出額	収入額	支出額	
水道事業	61,490	48,663	5,142	25,867	236,995
工業用水道事業	14,382	12,161	1,228	3,006	0

3

財政状況（健全化判断比率と資金不足比率）

●健全化判断比率の状況

健全化判断比率とは、実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の４つの指標をいいます。これらの４指標には早期健全化基準と財政再生基準が設けられており、この基準を超えると財政が悪化していると判断されます。朝倉市（平成 26 年度）は、どの比率も基準を下回っています。

項目	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
平成 26 年度朝倉市の比率	赤字比率は生じていません		8.5	43.2
早期健全化基準	12.75	17.75	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

①実質赤字比率…一般会計などの赤字の程度を示した比率
②連結実質赤字比率…朝倉市の全会計を含めた赤字の程度を示した比率
③実質公債費比率…財政規模に占める単年度の借金返済の割合を示した比率
④将来負担比率…第三セクターなども含めた今後返済すべき借金の一般会計等の負担の割合を示した比率

●資金不足比率の状況

資金不足比率とは、公営企業の赤字の割合を特別会計・企業会計ごとに示したものです。黒字の場合は表れません。従って、朝倉市の公営企業はすべて赤字がなく資金不足はありません。また、資金不足比率には経営健全化基準が定められており、20 ٪を超えると経営が悪化していると判断されます。

会計名	資金不足比率
簡易水道事業特別会計	－
下水道事業特別会計	－
農業集落排水事業特別会計	－
個別排水事業特別会計	－
工業用地造成事業特別会計	－
水道事業会計	－
工業用水道事業会計	－

▲朝倉市の公営企業は資金不足がないため比率がありません